

中馬街道 史跡紹介

1. 梅屋の「さざんか」と道祖神(大草)

細野から曾木に入ったところに梅屋と呼ぶ質屋があった。「さざんか」(樹齢250年ともいわれている)が当時の面影を残している。また、石垣の角に小さな道祖神が造立されている。



2. 道祖神(大草)

町内には数体の道祖神がある。道祖神は旅人を導き、安全を祈る神である。



3. 常夜灯(大草)

川のほとりに石垣を積み、その上に常夜灯が建っている。曾木の中洞、大草の伊勢神宮、水神、金毘羅宮、秋葉社の講中で造立したものである。三河旭町で数多くの石造物を手掛けた信州高遠石工 藤沢郷北原の北原七兵衛の作である。



4. 酒屋(浦野家本家)(大草)

大草の入口に当たる浦野家は、往時、酒屋として栄え、昔のたたずまいを今も残す旧家である。いくつかの蔵を持ち中世武家屋敷を思わせる豪壮な建物である。



5. 現金屋(大草)

中洞へ向う上り口に両替も行った現金屋(雑貨店)があった。貸し売りをしない店であっただろうか。大草にはいろいろな店が多かった。



6. 道祖神(大草)

明治25年5月吉日に造立されたものである。



7. 大草遺跡(大草)

大草遺跡は、平成8年に大草地区のほ場整備工事中に見つかった縄文時代の遺跡で、縄文式土器の破片8000点以上、石鏃・磨製石斧や珍しい垂飾りなどの石器約300点、合計3万点以上の大量の遺物が出土した。約4500年前にこの地に縄文人が生活していた。



8. 馬頭観音(中洞)

信州高遠大馬村 善兵衛の引いて来た馬が、この場所で息たえ、その馬を供養するため文政元年寅十二月十八日馬頭観音を造立した。



9. 中馬街道等の解説石碑(中洞)

中馬街道と曾木打ちばやしの由緒を簡明に解説した石碑である。



10. 石仏(中洞)

左から
子持ち地蔵:子を連れている地蔵は、日本でも大変珍しい地蔵である。

道祖神

山の神

若宮:御霊の神といわれる若宮である。

気候不順による食糧不足などにより幼くしてこの世を去った幼児や、旅の途中で亡くなった人などを供養したものであろう。



11. 石仏(中洞)

左 氏神
右 馬頭観音

昔、この曲がり道で事故が多発し、近所の7軒で造立したもので、毎年5月5日を供養日とし、現在では、5日に近い日曜日に供養している。造立後事故はない。



12. 六角石幢(住久保)

江戸時代のものである。六道に輪廻転生する亡者を救うためという。寺の須弥壇脇の飾りの布製の幢幡が6組または8組を合わせた形として石造物になったと思われる。六面幢とも呼ぶ。単制の石幢である。単制石幢では、県下で最も早い時期に造立された一つである。



13. 水神(住久保)

曾木温泉跡地(曾木公園)の池の端に造立された水神である。



14. 馬頭観音(住久保)

「明治四十一年八月吉日沼田嘉兵衛」と刻まれている。



15. 馬頭観音(住久保)

基壇、基礎上に船形光背の中央に三面八背臂の馬頭観音立像が浮き彫りしてある。頭上の宝馬は大きく、彫がよい。左右の手の持物多彩で中央手は馬口印を結ぶ。基礎に「安永九年拾月十八日 曾木村 石浜次兵次 沼田東六 水野吉右エ門 □源吉」と刻まれている。



16. 道標(住久保)

道標の造立は江戸時代で、街道の発展と深いつながりを持っている。旅する人馬の安全を祈り、利便を考えた。往時の心温まるものがある。



17. 道祖神(住久保)

通常は道路に面しているが、この道祖神は正面が屋敷に向いていることで珍しい。これは、当時、泥棒が屋敷に何回も入り、それを防ぐためだったという。また隣家の石垣の中に馬頭観音が造立されている。



18. 双体道祖神と地藏菩薩立像(住久保)

左から
延命地藏:早生した子ども達の冥府の旅安かれと祈る親たちにとってまさに地獄の救世主だった。室町期の作で、この地方では希なものである。

五輪塔:火輪以外は欠失しているが、三基ほど五輪があったと思われる。空風火水地輪の塔全体が大日如来を抽象化したものである。形体から室町期のものと思われる。

双体道祖神:さすかに道祖神の里である。山形上部を箱として角形に彫りくぼめた中に二仏の立像を浮彫りしてある。二像の手の造りが違うところから男女の酒を汲む姿ではなからうか。この双体道祖神は日本における西限を示す貴重なものである。

五輪塔

念仏構碑:悟りを求め如来になるための修行をしつつ終生を救い導く、上求菩提下化衆生をなす菩薩は庶民大衆の圧倒的な信仰を受け、念仏講は各地に生まれた。同行口人の刻字が判別でき、講により造立されたものである。



19. 君が塔(五輪塔)(住久保)

曾木温泉の遊女お君の墓と伝えられ、「君ヶ塔伝説」がある。遊女と武士の悲しい物語である。鎌倉末期から南北朝期の作と言われている。



20. 馬頭観音(住久保)

国道363号から中馬街道に入る場所にある。「右 だち たじみ」「左 名古屋みち」と刻まれている。



21. 馬頭観音(住久保)

民家の敷地内にあり、往時は、旅人に湯茶のサービスをし、疲れを癒したという。



22. 法華の墓跡(住久保)

旅の途中、この場所で果てた僧侶の供養に造立されたものと思われる。表には「南無妙法蓮華経」と刻まれている。

